

シリーズ 私の一冊の本

経営情報学部 湯瀬裕昭 先生

安田寿明著 『マイ・コンピュータをつくる:組み立てのテクニック』

本書を「私の 1 冊の本」として紹介すべきかを随分迷ったが、私の進むべき方向を変えるきっかけになった本なので、ここであえて紹介させていただく。

本書は、マイコンの基礎からマイコンの作り方、各種マイコンの紹介について書かれている。「パソコン」という単語を良く聞くと思うが、学生諸君らは「マイコン」という単語を聞き覚えがないと思う。「マイコン」とは「マイクロ・コンピュータ」を略した言葉である。著者の安田寿明氏は「マイコン」という言葉から更に「マイ・コンピュータ」の略称であると意味づけ、本書のタイトルや本文中で「マイコン」の代わりに「マイ・コンピュータ」という言葉を使っている。本書は、日本でマイコンが普及し始めた 1970 年代後半に出版された。当時、私は中学生だったが、本書を読んで、初めて個人でもマイコンと呼ばれるコンピュータを作れることを知った。マイコンは今のパソコンに比べると非常に貧弱な性能のコンピュータであったが、個人がコンピュータを所有できるとは夢にも思っていなかった時代に、コンピュータを自作し、個人で使うことができるということは衝撃的であった。私は将来、ロケットのエンジニアになりたいと思っていたが、本書を読んだことがきっかけで、コンピュータに興味を持ち、現在、コンピュータの研究者としての道を歩んでいる。本書に出会わなければ、ロケット工学の道に進んでいたかもしれない。

20 年ぶりくらいに本書を読み直して、本書はコンピュータの基本原理を、マイコンの実例を通して学ぶのに適した本であることに気づいた。また、当時のマイコンの技術進歩とその普及の息吹を感じることができた。本書は絶版になっており、残念ながら本学の図書館には収蔵されていない。本書の前作となる「マイ・コンピュータ入門」が本学図書館 2 階の学生文庫（ブルー/313）にあるので、本書の代わりに同書をパソコンの温故知新として読んでみるのも良いと思う。